PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

10-261438

(43)Date of publication of application: 29.09.1998

(51)Int.CI.

HO1M 10/40

H01M 4/02

H01M 4/04

(21)Application number: 09-064463

(71)Applicant: JAPAN STORAGE BATTERY CO

LTD

(22)Date of filing:

18.03.1997

(72)Inventor: TSUKAMOTO HISASHI

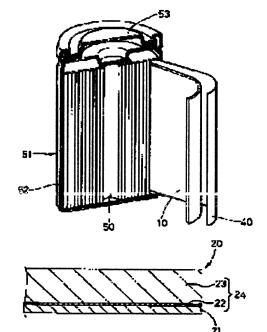
(54) NONAQUEOUS ELECTROLYTE SECONDARY BATTERY AND MANUFACTURE OF ITS ELECTRODE BODY

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To constitute a battery structure in the entire electrode plate to enlarge its capacity.

SOLUTION: A lithium foil laminate film 50 with a metal lithium foil 52 retained in a base film 51 is superposed on a negative electrode plate 20, and is pressurized by inserting it between a pair of transfer rolls 53.

Thereafter, the base film 51 is stripped to manufacture the nagative electrode plate 20 with the extremely thin metal lithium foil 52 transferred to the surface of an electrode mixture 23. The negative electrode plates 20 with a separator caught therebetween are wound along with positive electrode plates to form an electrode body.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

Date of final disposal for application

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

BEST AVAILABLE COPY

decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公別番号

特開平10-261438

(43)公開日 平成10年(1998) 9 月四日

(51) Int.Cl.* 識別記号 FI HO1M 10/40 H 0 1 M 10/40 Z 4/02 B 4/02 4/04 4/04

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 5 質)

(21)出職業計

特顯平9-64463

(71)出職人 000004282

日本電池株式会社

(22) 山瀬日

平成9年(1997)3月18日

京都府京都市南区吉祥院西ノ庄落之爲場町

1事地

(72) 完明音 學本 寿

京都市南区古祥院西ノ庄猪之馬場町1番地

日本電池株式会社内

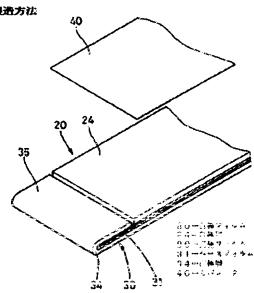
(74)代理人 弁理士 後呂 和男 (外2名)

(54) 【発明の名称】 非水蠟解質二次電池及びその電極体の製造方法

(57)【要約】

【譲騒】 電極板の全体で電池構造を構成することができるようにして大容量化を可能にする。

【解決手段】 ベースフィルム 51に金属リチウム 指5 2を保持させたリチウム 指ラミネートフィルム 50を負 伝統20に重ね、一対の転写ロール53間に通して加圧 する、加圧後、ペースフィルム 51を制がせば、電極合 剤23の表面に循準の金属リチウム 括52が転写された 負債板20が製造される。これをセパレータを挟んで正 価板とともに巻回して電価体を形成する。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

[請求項 1] 増脂フィルム の両面に正極及び負極の電極層が形成された電極板をセパレータ層を挟んで巻回することで電極体を構成してなる非水電解理二次電池であって、前記電極板の巻風内周側となる面の種性の電極層が形成されていることを特徴とする非水電解質二次電池。

【請求項 2】 正極及び負極の各電極層が表表 に形成された電極振をセパレータ層を挟んで巻回することで構成される非水電解質二次電池の電極体の製造方法であって、可挽性のペースフィルム の片側の面に集電体をを挟んで正極合利層を形成して正極フィルム を形成して直径の両フィルム の片側の面に集電体層を挟んで負極の両フィルム のペースフィルム を重ね合わせて表表 両面に正極及び負極の電極層が形成されると共に端部において一方の電極層が他方の電極層側に折り返された電極板を形成し、その電極板を前記折り返し部が内側となるように折り込んで過巻き状に巻回することを特徴とする電極体の製造方法。

[発明の詳細な説明]

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は電極体の構造を改良した非水電解質二次電池及びその電極体の製造方法に関する。

[0002]

【従来の技術】この種の二次電池として、例えば正極と 負極との間で一方が放出したリチウム イオンを他方に極 敢 させるという可逆反応によって充放電を行う非水電解 質二次電池が公知である。これは、一般に次のように製 さされる。例えば集電体としての金属アルミニウム 婚に 適齢金属のリチウム 含有酸化物を含んだ電極合利を維布 して正極用の電極板を製造する。一方、やはり集電体と して機能する銀塔に層状構造の炭素材を含んだ電極合利 を途布して負極用の電極板を製造する。そして、これら の正負の両を層板を製造する。そして、これら の正負がの多層構造となった電極体を製造し、これを非 水電解質と共に電池缶に収容するのである。

【0003】ところで、近年、かかる構造の二次電池においても一層の経量化が要望されている。そこで、本出額人は既に例えばポリエチレンテレフタレート(PET)フィルム の両面にアルミニウム 箔と幻箔とを検層するとともに、これらの金属箔上に正極用及び負極用の電極合剤を途布した構造の電極板を開発し、これをセパレータを挟んで巻回することで電極体を製造できるようにした。これによれば、PETフィルム によって強度を確保できるので、PETに比べて比重が大きなアルミニウム 箔や網箔を十分に違くすることができ、その分、電極体の経量化を図ることができるのである。【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記構造の電極体では、電池容量の点で未だ改良の余地が残されていた。これを次に説明する。図7に示すように電極しては、20両面に正極層3と負極層をが形成されており、セパレータ5と集幅を折り込むようにし、巻回内周側が例えば正極層3となれば巻回外周側が負極層4となるから、セパレータ5を挟んで両電極層3、4が対向することになり、電池構造が形成されるのである。ところが、巻回始端では最初の折り返されるのである。ところが、巻回始端では最初の折り返されるのである。ところが、巻回始端では最初の折り返されるのである。ところが、巻回始端では最初の折り返されるのである。

【0005】本発明は、上記事情に鑑みてなされたもので、1枚の電極振の両面に正極層と負極層とを形成したものを使用しながら、電池容量を高めることができる非水電解質二次電池及びその電極体の製造方法を提供することを目的とする。

[0006]

【課題を解決するための手段】請求項 1の発明に係る非水電解質二次電池は、樹脂フィルムの両面に正極及び負極の電極層が形成された電極板をセパレータ層を挟んで巻回することで電極体を構成してなる非水電解質二次電池であって、前記電極板の巻回内周側となる面の巻回始端には、巻回外周側となる面の極性の電極層が形成されているときにしたところに触りたする。

ているようにしたところに特数を有する。 【〇〇〇7】また、詰求項 2の発明に係る非水電解質二次電池の電極体の製造方法は、正極及び負極の各電極層が表表 に形成された電極振をセパレータ層を挟んで巻回することで構成される非水電解質二次電池の電極の製造方法であって、可挽性のベースフィルムの片側の面に直極層を形成して正極フィルム を形成するとともに、他のベースフィルム の片側の面に負極層を形成して負極フィルム を取成し、これら正極及び負極の両フィルム のベースフィルム を重ね合わせて表表 両面に正極及び負極の電極層が形成されると共に端部において一方の電極層が他方の電極層側に折り返し部が内側となるように折り込んで過剰を対に巻回するところに特数を有する。

【発明の作用及び効果】請求項 1及び請求項 2の発明では、電極板の巻回内周側となる面の巻回始端に巻回外周側となる面と同一の極性の電極層が形成されるから、巻回始端の折り込み部においても互いに実極が対向することになり、電極板が無駄なく電池構造の形成に利用されることになって電池容量を増大させることができる。 【0009】また、請求項 2の製造方法では、電極板は負極フィルム と正極フィルム とを貼り合わせて製造するようになし、その貼り合わせの際に一方のフィルムの端部を折り返すようにしているから、巻回始端に逆極性の **電極層を簡単に形成することができ、製造コストを低減できる。**

[0010]

「発明の実施の形態」以下、本発明の一実施形態について図1ないし図6を参照して説明する。図1は完成形態の非水電解質二次電池板断して示してある。これは、電極板10を例えばボリレン不識巻きがになるされてパレータ40を分して差回することで温巻きのが構造されたは収容されている。電池缶51は円筒容器状の負むで持点はである。図示はしないが内ではエチレンカーボネート(DEC)及びジンチルカーボネート(DEC)及びジンチルカーボネート(DEC)及びジンチルカーボネート(DEC)及びジンチルカーボネート(DEC)を発した過合液に1mol/デリン酸リチウムを添加した非水電解液が充填されている。

【0011】さて、前記電極体50の製造方法について 詳述する。まず、電極板10は、負極フィルム 20及び 正極フィルム 30を貼り合わせて製造されている。この 負権フィルム 20は、例えば厚さ4、5gmのポリエチ レンテレフタレート (PET) 製のペースフィルム 21 の表面に例えばメッキ手段によって網路22を形成して 集電体となし、その上にグラファイト粉末を結舎剤と共 に退練した負極合剤のペーストを塗布し、これを乾燥及 び圧延して例えば厚さ60μmの負極合割層23を形成 してあ る。これにより、図2に示すようにベースフィル ム 21の片面に負種層24が形成された負種フィルム 2 □が製造される。一方、正径フィルム 30は、やはり厚 さ4. 6μmのポリエチレンテレフタレート(PET) 製のベースフィルム 31の表面にアルミニウム 指32を **統層して集電体となし、その上に例えば遷移金属のリチ** ウム 合有酸化物であ るリチウム コバルト酸化物 (Li C の O2) に結亳剤としてのポリ発化ビニリデンと導電材 としてのアセチレンブラックとを添加してペースト状と なるように温辣した正極合制を塗布して乾燥及び圧延し て例えば厚さ40μmの正極合制層33を形成してあ る。 これにより、図3に示すようにベースフィルム 31 の片面に正極層34が形成された正極フィルム 30が製 造される.

【0012】次に、正極フィルム 30は、その先端においてベースフィルム 31側に少し折り返されて正極層34の折り返し部35が形成される(図4参照)。そして、その折り返し部35を避けて、正極フィルム 30のベースフィルム 31上に負極フィルム 20が重ねられ、双方のベースフィルム 21,31が互いに貼り合わされる。これにより、図5に示すように、一体化したベースフィルム 21,31の両側に負極層24及び正極層34が形成された電極版10が完成し、負極層24側の面(図中上面)の先端には正極層34が設けられた状態となる。そして、上記電極版10を正極層34の折り返し

部35部分が内側となるように折り返し、セパレータ4 ロと共に沿巻き状に多数回巻回すれば、図1に示した沿 巻き状に移居された電極体50が完成する。

【0013】上記榜造の電極体50では、図6に示すように、セパレータ40を挟んで負極層24が参回内周側となると共に正極層34が移動が形成される。第35が最高である。第35が形成が1950層層24と対が1950層間では、1950円間には、1950円間には、1

【0014】しかも、特に本実施形態では、電極板10は負極フィルム20と正極フィルム30とを貼り合わせて製造するようになし、その貼り合わせの際に正極フィルム30の端部を折り返すようにしているから、負極層24個の面の先端に正極層34を簡単に形成することができ、製造コストを修道できる。

<他の実施形態>本発明は上記記述及び図面によって説明した実施の形態に限定されるものではなく、例えば次のような実施の形態も本発明の技術的範囲に含まれ、さらに、下記以外にも要旨を逸脱しない範囲内で種々変更して実施することができる。

【0015】(1)上記実施形態では、負債層24側を 折り返すようにしたが、これとは逆に正極層34側を折 り返すようにしてもよく、この場合には上記実施形態と は逆に負債層24が巻回内周側となるように巻回すれば よい。

(2) セパレータ4ロは電極版1ロとは別のシートとするに限らず、電極版の表面にセパレータ層を一体的に構成しておいてもよい。

【0016】(3)上記実施形態では、正確と負債との間でリチウム イオンが放出・吸載 されるタイプの二次電池に適用したが、これに限らず、金属リチウム のイオン化及び析出の可逆反応を利用した二次電池に適用することもできる。この場合には、上記実施形態の負債合割層23に代えて金属リテウム 箔或いはリチウム 合金箔を経層すればよい。また、もちろん、円筒型の電池に限らず、角形或いはボタン型の非水電解質二次電池に広く適用することができる。

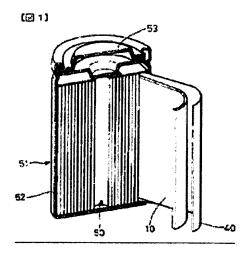
「図面の簡単な説明】

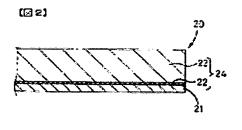
【図1】本発明の一実施例を示す非水電解質二次電池の

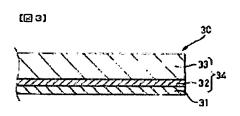
分解斜视图 分解判例 【図 2】負極フィルム の拡大断面図 【図 3】正極フィルム の拡大断面図 【図 4】電極仮の分解料視図 【図 5】電極板をセパレータと共に示す料視図 【図 5】電極板をセパレータと共に示す料視図 【図 5】電極板をセパレータと共に示す料視図 【図 7】開発過程の比較例を示す電極板の拡大斜視図 (図8) 開発過程の比較例を示す電極体の拡大断面図 (符号の説明) 10…電極板

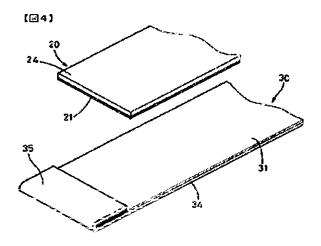
20…負援フィルム

21…ペースフィルム 22…劉洁 23…負任合利層 24…負任層 30…正任フィルム 31…ベースフィルム 32…アルミニウム 指 33…正怪合刻層 34…正任局 40…セパレータ 50…電優体

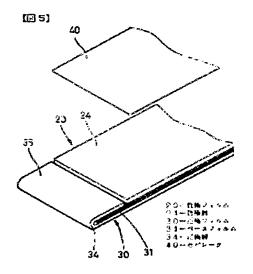


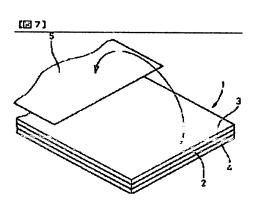


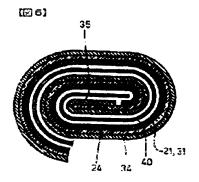


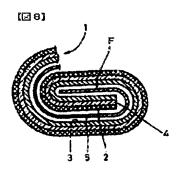


BEST AVAILABLE COPY









This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
П отнер.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.